

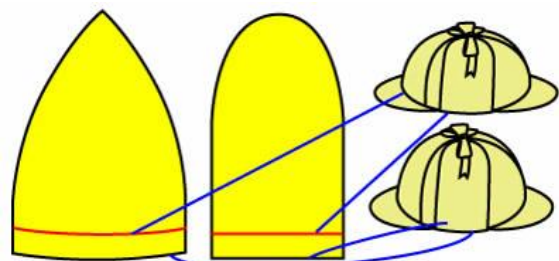
布の上に型紙を置いて大まかな配置を決めてください。

帽子の表になる生地が薄い場合裏に接着芯を貼ってください。

ウールなど厚い場合は、裏地もつくので不要です。

図のように型紙より大きめに布を切り、接着芯も型紙より少し大きめに貼ってから線を引いて切ると綺麗に切れます。

つばには固めの芯をあとで貼ります



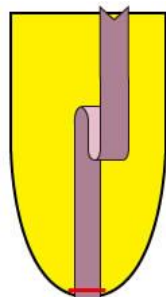
耳あてとサイドクラウンとかかれたパーツの2種類の線は、帽子の深さを変更できる線です。

浅め似作りたい場合は上側で作ってください。一度型紙をテープで組み立てて被ってみるといいかもしれません。

もっと深くしたい場合は、下側に平行に紙を足すだけでOKです

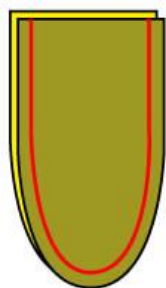


生地の縫い合わせの印を必ずつけて下さい。くわしくは[縫う前の下準備](#)を参照してください。



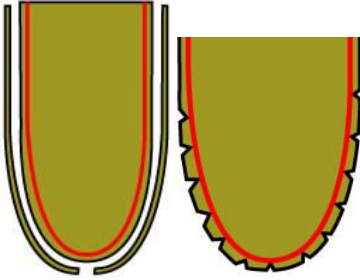

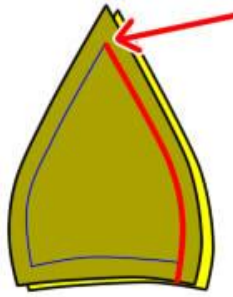
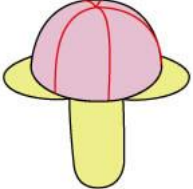
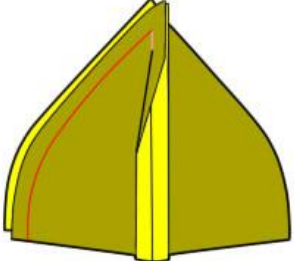
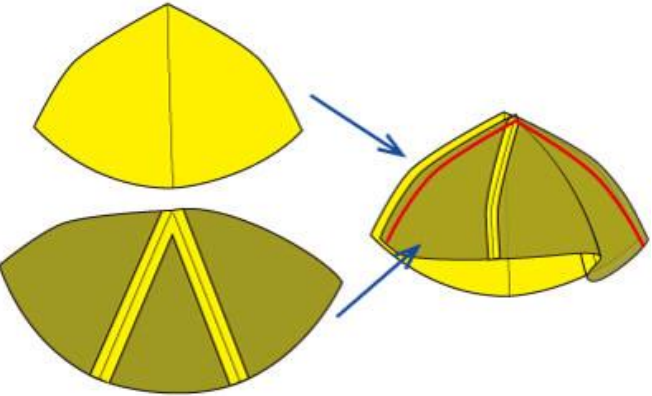
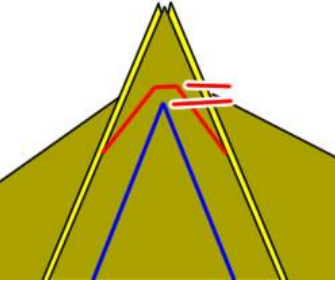
耳あてのパーツの上に裏が上になるようにリボンを重ねて端から5mmのところを縫ってください。

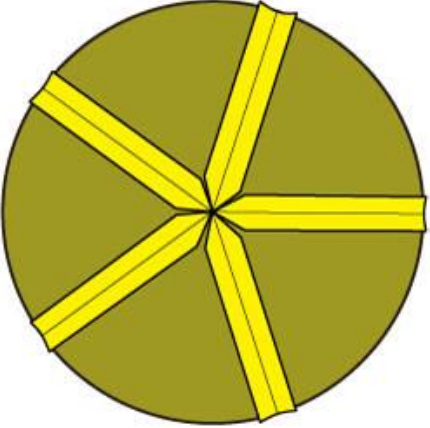

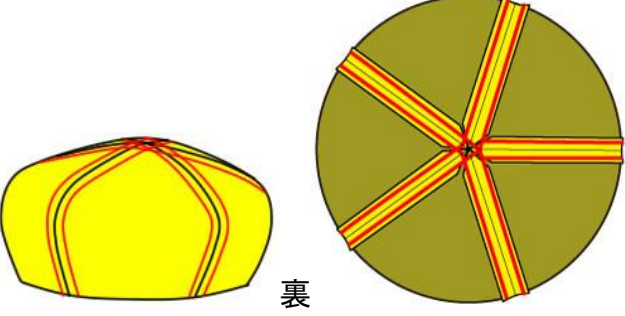
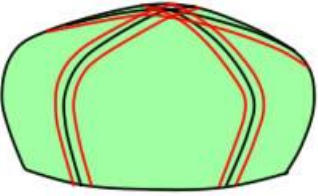
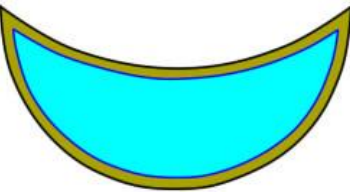

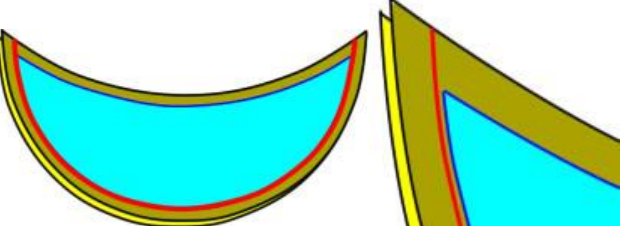
リボンは実際にちょうちょ結びをしてみてもうどいい長さより3cmほど長めのものを2本用意してください。

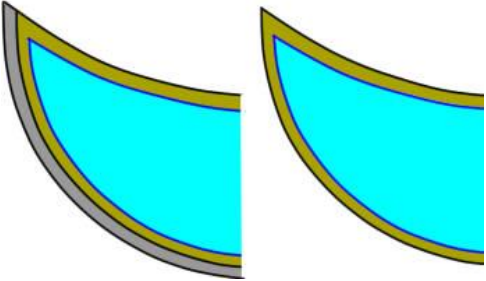
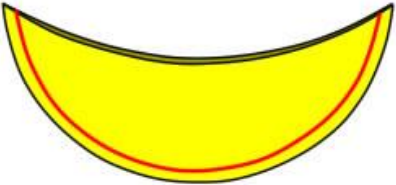
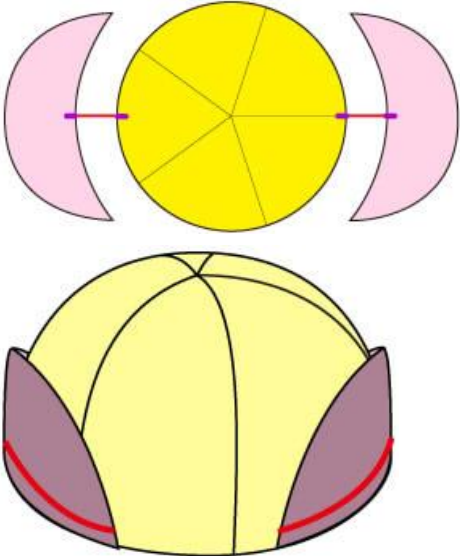
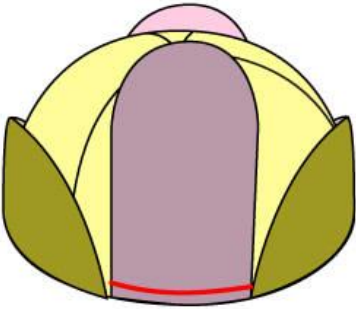


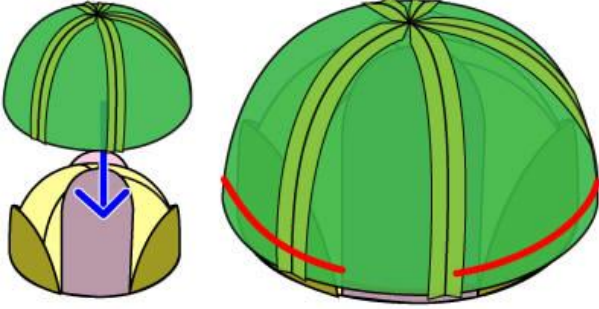
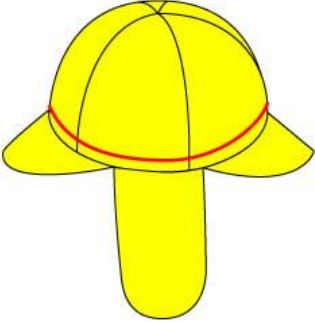

耳あてのパーツを表同士が内側になるように重ねてください。

縫い代1cmの幅で縫ってください。

	<p>縫ったら、縫い代を 5mm 切り落としてください。</p>
	<p>表側へひっくり返して形を整えて端から 5mm のところを縫ってください</p>
<p>出来上がり線の角まで縫う</p> 	 <p>型紙にサイドクラウンと書かれたパーツを縫ってください。 内側が表になるように重ね片側だけ縫ってください。</p>
	<p>縫い合わせた 2 枚を広げて下さい。 縫い代をアイロンで左右に折って下さい。 3 枚目も内側が表になるように重ねて下さい。 天辺の角で最初の縫い代を縫いこまないようよけてから、縫ってください。</p>
	 <p>頂点の縫い代の角を切り落として下さい。 縫い目のギリギリを切るとほつれるので縫い目から 1~2mm ほど離れたところを切って下さい。 3 枚同士を表が内側になるように重ねて縫ってください</p>

	<p>アイロンで縫い代を左右に折ってください。</p>  <p>カーブの所が引きつったりしないように縫い代に切り込みを入れてください。</p>
 <p>表 裏</p>	<p>アイロンをかけられない生地、折り目がつきにくい生地は、縫い代を広げた状態で表側と縫い代を縫って固定してください。</p>
	<p>裏地も同じように縫ってください。</p>
	 <p>つばのパーツの裏に帽子用の厚い接着芯を出来上がり線の内側に貼ってください。</p>
	<p>内側同士が表になるように重ねて縫ってください。 接着芯から1~1.5mm外側を縫うと綺麗に裏返しやすいです。</p>

	<p>縫ったところの縫い代の幅が 5mm 程度になるように切って下さい。</p> <p>こうすることで出来上がり線と縫い代線の弧の長さの差によるダブつきが少なくなり綺麗に仕上がります</p>
	<p>表に返して端から 2~5mm の所を縫って下さい。</p>
	<p>帽子のつばの中心を左右に合わせてください。</p> <p>片方は縫い目の境目、もう片方はパーツの真ん中と、つばの中央を合わせて端から 1cm のところを縫って下さい。</p>
	<p>つばとつばの間に耳あてを重ね縫って下さい。</p> <p>(省略していますが実際は耳あてにリボンがついています)</p>

	<p>表が見える状態の表生地に裏が見えるようにした裏地をかぶせて端から1cmのところを縫って下さい。 ひっくり返すため6~8cm程度開けておいてください。</p>
	<p>表側にかえして、縫い代を内側に入れてください。 端から5mmのところを縫って下さい。</p>
	<p>リボンを結んで完成です。</p>